

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 4 月 2 日
- ◆ 支部 横須賀
- ◆ 場所 マリーナヴェラシス
- ◆ 参加人数 60名



安全祈願写真



講習状況写真

- ◆ 講習内容
 - ・安全祈願祭
 - ・事件事例による安全対策
 - ・救命胴衣着用実習
 - ・信号紅煙点火実習
- ◆ 講習を終えて
 - ・参加者が実技を多く実施した講習会となった。
 - また、講習会の必要性を実感した。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 4 月 17 日
- ◆ 支部 横須賀
- ◆ 場所 サニーサイド マリーナウラガ
- ◆ 参加人数 50名



心肺蘇生・AED のデモ実習

- ◆ 講習内容
 - ・横須賀消防局南消防署による実技講習
「船上で必要な救急法」「心肺蘇生法と AED のデモと実習」
 - ・小川 敦氏による講和
「おしゃれなウォーターフロントへのクルージング」
- ◆ 講習を終えて
 - ・心肺蘇生法・AED の使用方法等参加者も真剣に取り組んでいた。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 4 月 17 日
- ◆ 支部 横浜
- ◆ 場所 横浜ベイサイドマリーナ
- ◆ 参加人数 60名



◆ 講習内容

- ・ 事件事例による安全対策
- ・ 小型船の海難統計について
- ・ 津波について
- ・ 救命胴衣の着装実技
- ・ 横浜市漁業協同組合 金沢支所による講和
「東京湾内の水質改善について」

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 5 月 22 日
- ◆ 支部 東京
- ◆ 場所 東京夢の島マリーナ
- ◆ 参加人数 50名



- ◆ 講習内容
 - ・ 簡易救命具の製作
 - ・ 製作した簡易救命具を使用し海中転落者をヨットに救助する実技講習
 - ・ 事故事例からの安全対策
 - ・ 国際 VHF の取り扱い、気象・海象について
- ◆ 講習を終えて
 - ・ 簡易救命具作成に関しては特に参加者の関心が高いように感じた。
今後も講習等で紹介していきたい。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 5 月 2 9 日
- ◆ 支部 千葉
- ◆ 場所 浦安マリーナ
- ◆ 参加人数 4 0 名



◆ 講習内容

・千葉及び東京海上保安部講師による講習

- ① 海難統計からの注意点
- ② 安全情報システムの紹介
- ③ 簡易救命具の製作実技

・心肺蘇生、AED の取り扱い実技訓練（海上安全指導員 中村医師）

◆ 講習を終えて

海上安全指導員の中村医師による心肺蘇生法、AED 実技訓練では全員が参加し訓練を実施した。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 5 日
- ◆ 支部 千葉
- ◆ 場所 千葉オーシャンヨットクラブ
- ◆ 参加人数 24名



◆ 講習内容

- ・ 千葉海上保安部職員による講習
- ① プレジャーボートの海難防止について
- ② 自己救命策の確保について（救命胴衣着用講習）
- ③ 安全情報メール周知活動・海の安全運動周知活動

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 9 日
- ◆ 支部 伊豆
- ◆ 場所 新かどやホテル（熱海）
- ◆ 参加人数 30名



◆ 講習内容

・ 下田海上保安部職員による講習

- ① 地震・津波対策について
- ② 沿岸及び港湾の気象情報の活用について
- ③ 海の安全情報の配信について
- ④ 海の安全運動の実施について

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 1 2 日
- ◆ 支部 横須賀
- ◆ 場所 横須賀市浦郷榎戸町内会館
- ◆ 参加人数 25名（社団法人 NPO 横須賀マリン協会）



◆ 講習内容

- ・千葉海上保安部職員による講習
- ① プレジャーボートの海難防止について
- ② 自己救命策の確保について（救命胴衣着用講習）
- ③ 安全情報メール周知活動・海の安全運動周知活動

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 1 2 日
- ◆ 支部 東京
- ◆ 場所 江東区晴海 東京みなと館
- ◆ 参加人数 50名



◆ 講習内容

- ・東京海上保安部職員による講習
- ① 海の安全情報配信メールについて
- ② 海の安全運動実施について
- ③ 津波対策について

◆ 講習を終えて

- ・海の安全情報配信メールの説明を聞き、早速登録を行う参加者も見られた。
- ・津波対策については、熱心にノートをとる参加者が多かった。

横須賀支部連絡調整会議及び海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 1 8 日
- ◆ 支部 横須賀
- ◆ 場所 横須賀市交流プラザ
- ◆ 参加人数 4 0 名



◆ 講習内容

- ・ 外部講師小川淳氏による講和
「クルージングへの誘いと、船上でのトラブルシューティングと対処法」
- ・ 横須賀海上保安部及び湘南海上保安署より
 - ① 海の安全メールの配信について
 - ② 気象・海象予測情報の活用について

しみず支部連絡調整会議及び海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 2 2 日
- ◆ 支部 しみず
- ◆ 場所 清水港湾合同庁舎
- ◆ 参加人数 3 0 名



◆ 講習内容

- ① 平成 23 年度「海の安全運動」について
- ② 平成 22 年度船舶海難の発生状況等について
- ③ 東日本大震災での小型船の避難事例について
 - ・ 清水海上保安部より
- ① 海の安全情報メールについて
- ② ミニポート海難防止用リーフレットについて

◆ 講習を終えて

- ・ 震災時の避難事例等については参加者が真剣に話を聞き、メモを取るなどする姿が見受けられた。

千葉支部連絡調整会議海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 25 日
- ◆ 支部 千葉
- ◆ 場所 千葉港湾合同庁舎
- ◆ 参加人数 30名



◆ 講習内容

- ・救命胴衣着用講習
- ・心肺蘇生法講習
- ・安全情報システムの紹介
- ・小川 敦氏による講和
「クルージングへの誘いと、船上でのトラブルシューティングと対処法」

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 6 月 2 6 日
- ◆ 支部 東京
- ◆ 場所 東京湾マリーナ
- ◆ 参加人数 3 0 名



◆ 講習内容

- ・ 東京海上保安部講師による講和
 - ① 東京湾内海難状況
 - ② 東京湾航路注意点 (最新版)
 - ③ 小型船の検査・登録を受けよう
(小型船舶の検査と登録制度船舶番号等の表示方法)

- ・ 本協会主任海上安全指導員 竹山 博氏による講和
 - ① エンジンの適切な点検実施について

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 7 月 2 日
- ◆ 支部 横浜
- ◆ 場所 横浜ヨット協会 クラブハウス
- ◆ 参加人数 50名



◆ 講習内容

- ・ 千葉海上保安部職員及び横浜海上保安部職員による講和
- ① プレジャーヨットの海難防止について
- ② 千葉海上保安部管内の乗揚げ海難の防止について

◆ 講習を終えて

- ・ この講習会は、毎年横浜市長杯ヨットレースを前にレース参加者を中心として開催していることもあり、いつもにもまして、全員真剣に受講していた。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 1 0 月 2 3 日
- ◆ 支部 横浜
- ◆ 場所 横浜クルージングクラブ
- ◆ 参加人数 3 0 名

落水者を想定した救助法の実技講習



モーターボートにて出港準備



講習内容

- ・実技講習として
 - ① 落水等の救助法について(救命浮環の投げ方・ペットボトルの応用等)
 - ② モーターボートにて出港準備 (ロープワーク・ライフジャケット・燃料オイルなどの安全点検)
 - ・「津波のメカニズムについて」の講和
 - ・ 3 月 1 1 日 東日本大震災時に東京湾を航海していた時の経験談
- ◆ 講習を終えて
- ・ 繰り返し実技の重要性を感じました。

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 1 0 月 2 3 日
- ◆ 支部 横浜
- ◆ 場所 杉田漁友会
- ◆ 参加人数 2 6 名

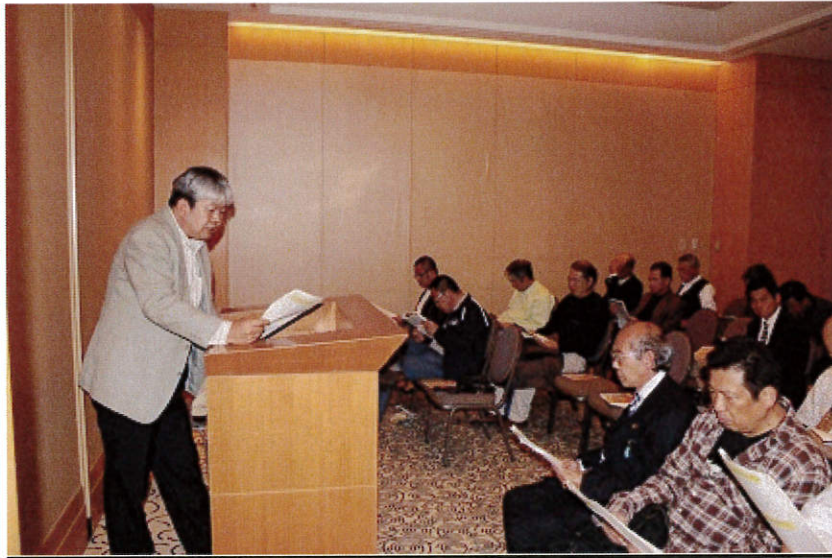


◆ 講習内容

- ・ 横浜海上保安部職員による講和
「海難事故を防止するために（海難発生状況・事故事例）」

海上安全講習会実施状況

- ◆ 日時 平成 23 年 1 2 月 1 0 日
- ◆ 支部 横浜（金沢八景マリンクラブ関係者対象）
- ◆ 場所 横浜パン・パシフィック横浜ベイホテル東急
- ◆ 参加人数 3 0 名



◆ 講習内容

- ・横浜海上保安部職員による講和
海の安全について
法定備品の注意について

◆ 講習を終えて

- ・受講者からの質問等が多く、予定していた時間をオーバーするほど充実した講習会となった。

平成 23 年度 公益社団法人 関東小型船安全協会 施設見学報告書

- ◆ 日時 平成 23 年 11 月 24 日
- ◆ 見学場所 東京湾海上交通センター
東京湾水先区水先人会 横須賀事業所
- ◆ 参加人数 50 人
- ◆ 見学目的 現在、関東沿岸のプレジャーボート海難のほぼ半数が船舶交通の輻輳する東京湾内で発生している。
東京湾内を通行ルートに沿って航行する大型船と通行ルートに関係なく遊走或いは船釣りをするプレジャーボート等小型船が混在する状況が直接或いは間接的に事故の要因にもなっていると考えられることから、日本財団助成金事業としてプレジャーボート等小型船関係者に海上交通実態を知ってもらう事により、小型船舶の海難防止を図る。

◆ 見学実施内容

東京湾海上交通センター

- ・ 東京湾海上交通センター見学及び研修



東京湾水先区水先人会（横須賀事業所）

- ・ 東京湾水先区水先人会シュミレーター見学及び研修



◆ 施設見学を終えて

東京湾内の輻輳する船舶を目の当たりにして驚きと、大型船の操縦性の難しさを納得。一段の安全運航の必要性を再確認することができた。